

知事の尖閣発言に抗議

石垣議会賛成多数で可決

【石垣】石垣市議会（平良秀之議長）6月定例会は初日の17日、尖閣諸島を巡る玉城デニー知事の発言に対する抗議決議案を賛成12、反対8、欠席1の賛成多数で可決した。

玉城知事は5月31日の記者会見で、八重山漁船が中国公船に追尾されたことを問われ「中国公船がパトロールしていることもあるので、故意に刺激するような

ことは控えなければならぬ」と述べていた。

抗議決議は「日本の領海内で漁労することがなぜ中国を刺激することになるのか」と非難。「玉城知事にとって尖閣諸島周辺海域は日本の領海ではないとの認識なのか、という疑念を払拭できない」とし、発言撤回と安心して操業できる最善の方策を示すよう求めた。

提案者の石垣亨氏（自民）は質疑で「知事は国境、離島に行政区域があるという

ことに意識が希薄なのではないか」と疑問を投げ掛けた。

賛成討論で仲間均氏（自民）は「わが国の領土を守り、県民の安心安全を先頭に立って守るべき知事の発言とは思えない」と主張。反対討論した内原英聡氏（ゆがふ）は「知事の発言に対する疑念にとどまるものだ。抗議決議はふさわしくない」と述べた。